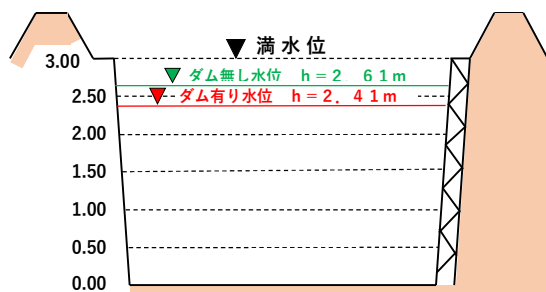


# 協和ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

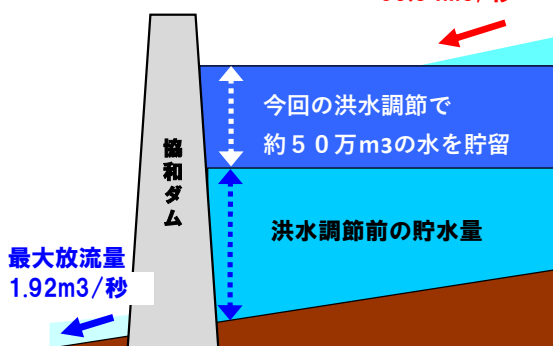


境水位局 地点で「0.20m」河川水位を低下することができました。



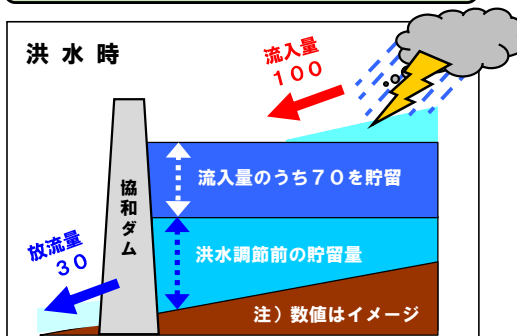
協和ダムの出水前・後の貯水状況  
(7月12日～13日)

最大流入量  
65.94m<sup>3</sup>/秒



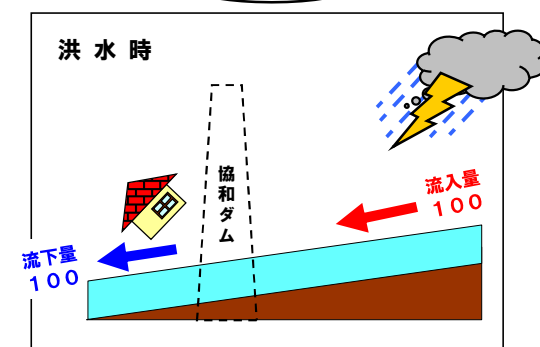
協和ダムは、ダム地点における計画最大洪水流量390m<sup>3</sup>/秒に対し、ダムからの放流を0～60m<sup>3</sup>/秒にとどめ、ダム下流に流す水量を減らし洪水被害の軽減に努めています。

協和ダムの洪水調節のしくみ



洪水時には、ダムに100流れてくる水のうち70をダムに貯留し、下流の淀川には30だけ流し河川の水位上昇を抑制します。

でも・・・ダムがないと



流れてくる100の水は、そのまま100下流の淀川に流れていきます。

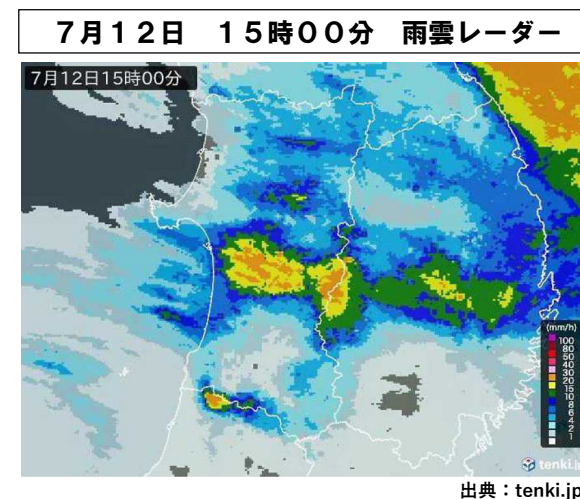
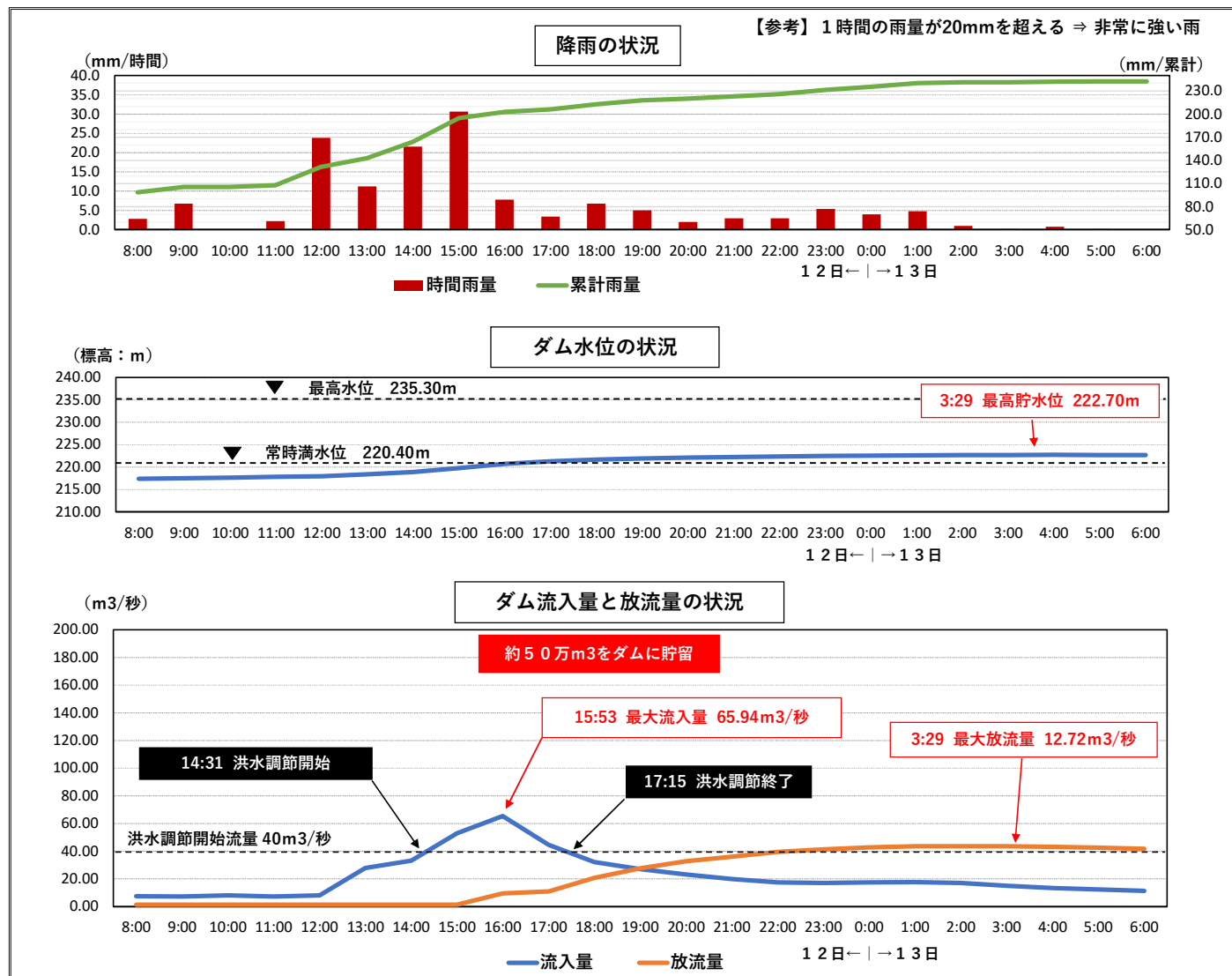
協和ダムでは、7月12日～13日の低気圧による出水で洪水調節を行いました。  
約50万m<sup>3</sup>の水をダムへ貯留し、ダム下流の淀川の水位上昇を抑制し、洪水被害の軽減に努めました。

# 協和ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報：別紙）

## 概況

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

協和ダムでは、**7月12日の低気圧による出水**のため洪水調節を行いました。  
 降雨の状況は、最大時間雨量**36mm**、累計雨量**242mm**となり、協和ダムにおける最大流入量は**65.94m<sup>3</sup>/s**まで上昇しました。  
 洪水調節の結果、洪水調節容量として、約**50万m<sup>3</sup>**の水をダムへ貯留し、淀川の水位を下げることができました。



## 協和ダム諸元

| 河川名    | 雄物川水系 淀川                  |
|--------|---------------------------|
| 形式     | 重力式コンクリートダム               |
| 目的     | 洪水調節、流水の正常な維持、上水道         |
| ダム長    | 222.50m                   |
| ダム高    | 49.30m                    |
| 湛水面積   | 0.49km <sup>2</sup> (美山湖) |
| 流域面積   | 24.40km <sup>2</sup>      |
| 最高貯水位  | 235.30m (標高)              |
| 有効貯水量  | 7,800千m <sup>3</sup>      |
| 洪水調節容量 | 5,500千m <sup>3</sup>      |
| 計画洪水量  | 390m <sup>3</sup> /秒      |
| 竣工年月   | 平成11年3月                   |